

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 学校法人 就実学園		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒703-8516 岡山市中区西川原一丁目6番1号	
本票作成	部署名：学園本部				
主たる業種	分類コード	81	業種名：学校教育		
事業の概要	大学（大学院含む）、短期大学、高校、中学校及びこども園（幼稚園・保育所）を保有し、学生、生徒及び児童合わせて約4,700人、教職員数約500人である。				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	西川原校地（大学、短大、こども園）		岡山市中区西川原一丁目6番1号	
	②	弓之町校地（中学、高校）		岡山市北区弓之町14番23号	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成 26 年度 ~ 平成 28 年度 (3 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 3.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							
温室効果ガス排出量	基準年度（平成 25 年度）			目標年度（平成 28 年度）					
	4,379 t CO ₂			4,248 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度（平成 25 年度）の排出量					
	①	西川原校地（大学、短大、こども園）		3,351 t CO ₂					
	②	弓之町校地（中学、高校）		1,028 t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 延床面積(平成25年度) : 77,911m ²	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		56.21 t CO ₂ / (千m ²)	54.52 t CO ₂ / (千m ²)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 25 年度)	達成率(%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

本学園では、設備更新によるエネルギー効率の向上及び運用の見直し等により、省エネ法に基づく概ね年1%以上の温室効果ガス排出削減に取り組む。
また、原単位を選択したのは増改築に伴って延床面積が変り、これを補正するためである。

【目標削減率達成のための推進体制】

平成21年度に学内に省エネルギー対策推進本部を設置し推進している。大学・短期大学及び高校・中学にそれぞれ省エネルギー対策推進委員会を置き、エネルギーの管理、設備の改廃計画、啓発活動等を行っている。この度、特定事業者になったことから、更なる管理推進体制の強化に取り組む。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
1. 西川原校地	1. 薬学部：夜間蓄熱機器の設置、省エネ診断 2. 大学（T館）：太陽光発電設備（49.5kW）の設置 3. 大学（R館）：大講堂の照明をLEDへ改修 4. 図書館：夜間蓄熱機器の設置 5. 大学・図書館：デマンドコントローラ及びモニター設置 6. こども園：地中熱ヒートポンプ及びOMソーラー設備の設置
2. 弓之町校地	1. 1,2号館：エアコン更新及び集中管理 2. 1,2,4号館：デマンドモニター設置

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
1. 学園全体	1. エネルギー管理推進体制の強化と実行 2. エアコン取替えの際はトップランナー機器を採用する。 3. 照明取替えの際は高効率タイプ（Hf、LED等）を採用する。 4. デマンドコントローラ及びモニター活用による待機電力の調査及び削減

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	有	太陽光発電設備を導入済み（大学T館、49.5kW、平成25年設置）
その他	無	

【その他特記事項】

なし
